



冷戦後35年を経てアジアの地政学的リスクが増大する状況下にあつて、
幾多のリスクを克服してきた東アジアの視点から、
平和に資する人文学・社会科学における
「知のプラットフォーム」の課題を明らかにする。

シンポジウム

日本・中国 「リスクアジア」の中の 「知のプラットフォーム」構築の課題

日時 **9/8月 9:45~18:00**

会場 **長崎大学文教キャンパス**

総合教育研究棟3F 31番教室

形式 ハイフレックス(対面・同時オンライン形式)/事前登録は裏面

主催 長崎大学JPEAKS(地域中核・特色ある研究大学強化促進事業)

長崎大学グローバルリスク研究センター

千葉大学・卓越大学院人系コンソーシアム

基調講演

濱下 武志 東大名誉教授

アジア地域システムの変動と 港湾都市ネットワーク再考

杉村 美紀 上智大学長

東アジアにおける高等教育戦略と 知のプラットフォーム

第Ⅱ部 13:00~16:00

①「中国周辺における 歴史の中のリスクアジア」

広川 佐保 新潟大学教授、飯島 渉 長崎大学教授、

討論・山田 賢 千葉大学特任教授

②「知のプラットフォーム」と リスクアジア

劉 傑 早稲田大学教授、加藤 恵美 帝京大学准教授、

討論・杉村 美紀 上智大学長

第Ⅲ部 16:10~17:40

全体討論 対立の中の「知のプラットフォーム」

廖 赤陽 武蔵野美術大学教授、鄭 成 兵庫県立大学教授

総括・岩下 明裕 長崎大学グローバルリスク研究センター長